

2016年11月4日

学生交流センター ランチトーク企画 報告書

「今日からはじめる大学生のエコライフ」

—身近なエコや環境に関する問題について考えるワークショップ—

学生交流センターの活動の1つで、東邦ガスと連携して作った環境サークル、NECTのメンバーが、環境についての理解を深めるために、ワークショップを2016年10月26日に開催し、およそ15名の学生が参加しました。

ファシリテーターは社会倫理研究所に所属し、環境経済学を専門とする経済学部の籠橋一輝講師です。籠橋先生によるミニレクチャーを受け、その後学生同士によるディスカッションを行い、互いの意見を話し合いました。

ミニレクチャーは「サステナビリティ(持続可能性)とは何か」というテーマで行われ、サステナビリティにまつわる2つの大枠の考え方や現状を学びました。私たちが生きていくうえで大切にしたいのは、生きる場所である「地球」なのか、それとも私たちが生きる上で感じる「幸福」なのか。大変難しい問題でしたが、「サステナビリティ」という言葉を知らなかったNECTのメンバーにとって、すごく勉強となるレクチャーだったと思います。

ディスカッションでは2つのテーマについてそれぞれ10分から15分程度話し合っ、まとめてもらいました。1つ目のテーマが「普段の生活でエコや環境を考えるのはどんな時か」、2つ目のテーマが「身近にできるエコアクション(自然環境に配慮した活動)にはどのようなものがあるか」でした。短い時間の中で、実体験に基づいて発表する姿が印象的でした。

報告者：NECT(学生交流センターコアグループ) 法学部3年生 福島里奈

